

明治大学大学院
国際日本学研究科
(博士前期／後期課程)

日本語学・日本語教育学
研究領域



学生募集をする専任教員 (2027年度入試)

教員（専門分野）			博士 前期	博士 後期
教授	田中牧郎（日本語学）		1期：○ 2期：○	2期：○
教授	小森和子（日本語教育学）		1期：○ 2期：○	2期：○

ほかに、修士論文指導、博士論文指導を行わないが、授業を担当する教員が2027年度は5名（社会言語学、認知言語学、音声学、日本語教育シラバス、語彙習得）を予定

田中牧郎（日本語学）

指導可能な研究テーマの例

- ▶ 日本語の歴史 現代の日本語（語彙・表記・文体）

これまでに指導した主な修士論文

- ▶ 対義語ペア「遠い・近い」の非対称性について（2025年）
- ▶ 近代日本語の伝播から見た中国人の国家意識の生成（2024年）
- ▶ 新聞見出しの言語的特徴と社会的背景（2022年）
- ▶ 役割語における人物の「性格」とは何か（2020年）

これまでに指導した主な博士論文

- ▶ アカデミック・ライティングにおける段落のまとめ方についての研究（2025年）
- ▶ 戦後の日韓外来語の通時的対照研究（2023年）
- ▶ 新聞における文章の近代化（2022年）
- ▶ 近代における和語の表記の変遷（2019年）

▶ 院担当科目

- ▶ 日本語学演習（博士前期）、日本語学研究（博士前期）
- ▶ 研究論文指導（博士後期）、言語国際交流特別研究（博士後期）

小森和子（日本語教育学）

指導可能な研究テーマの例

- ▶ 日本語学習者の第二言語の語彙習得研究
- ▶ 言語能力を測定するのに有効な言語テストの開発とその評価

これまでに指導した主な修士論文

- ▶ ニュース記事における「やさしい日本語」の考察（2023年）
- ▶ 同じ漢字を用いる日本語と中国語の動詞の意味の対照研究（2020年）
- ▶ 日本語における上下の概念メタファーの目標領域に関する考察（2019年）

これまでに指導した博士論文

- ▶ 中国人日本語学習者による外来語の意味理解に関する研究（2024年）
- ▶ 中国語を母語とする日本語学習者の多義和語動詞の習得における母語の影響（2023年）

主な大学院担当科目

- ▶ 日本語教育学演習（博士前期）、日本語教育学研究（博士前期）
- ▶ 研究論文指導（博士後期）、言語国際交流特別研究（博士後期）

在学中の大学院生の研究テーマ (博士前期3名、博士後期6名)

- ▶ 明治中期におけ女性の文体と韻律
- ▶ コーパスによる類義語の語史研究
- ▶ 外来語「ビジネス」とその類義語の変遷
- ▶ 近代日本におけるナショナリズム関連語彙の普及と中国での受容
- ▶ 第二言語としての日本語の言語調整に関する研究
- ▶ 中学校の教科書で取り扱われている論理関係に関わる教科特徴語の研究
- ▶ 人物の性格と言葉づかいに関する研究
- ▶ 近現代における感情・評価形容詞語彙の変遷に関する研究
- ▶ 近代翻訳小説における翻訳的文構造の研究

